要　望　書

国道３号植木バイパス

の整備促進について

国道３号植木バイパス・熊本北バイパス開通式(R5.2.5)
熊本西環状道路～須屋高架橋交差点間（延長 2.7 ㎞）

令和７年８月

国道３号植木バイパス建設促進期成会

国道３号植木バイパスの整備促進について

「国道 3 号植木バイパス」は、九州縦貫自動車道植木 IC を起点とし、熊本市北区四方寄町に至る延長約 9.3km の道路であり、熊本都市圏の放射道路網の一部となっています。

熊本市北部における国道 3 号の慢性的な交通混雑の緩和及び交通安全性の向上のみならず、熊本都市圏と県北部地域との相互交流・連携機能確保等、経済・社会活動・地域活性化のための根幹的な社会資本として極めて重要な役割が期待されています。

また、当期成会のほか、地域住民による『国道 3 号植木バイパス等の早期完成を進める会』や、山鹿市の経済団体が中心となる『国道 3 号植木バイパス（1 工区）早期実現期成会』が設立されており、官民一体となって本バイパスの早期全線整備に地域の切実な願いが届けられています。

「平成 28 年熊本地震」では、九州縦貫自動車道をはじめとする幹線道路が被災・寸断され、国道、県道に深刻な交通渋滞が発生するなど、災害時における既存道路ネットワークの脆弱性が露呈されたところでありますが、特に九州縦貫自動車道植木 IC から八代 IC の通行止めにより、県北方面からの車両が一般道に流出したことで、国道 3 号をはじめ熊本都市圏内の主要道路が麻痺状態となるなど、災害支援等に大きな影響が生じたことで災害発生時の代替機能・ダブルネットワーク機能強化の観点からも、本バイパスの整備が非常に重要であることが再認識されました。

本バイパスについては、既に都市計画決定されている全区間 9.3km のうち、5.6km（熊本市北区植木町鞍掛～同四方寄町）が平成 11 年度に事業化され、このうち 2.3km（熊本市北区植木町鞍掛～同鐙田）が平成 23 年 4 月に暫定 2 車線で供用開始されたことにより、渋滞が緩和され、玉名方面から熊本市内の救急医療施設まで所要時間短縮につながるなどの効果が生まれています。

また、「国道 3 号熊本北バイパス」と「熊本西環状道路」間の 0.9km について、令和 5 年 2 月に暫定 2 車線で供用開始されたことにより、通勤時の交通混雑が緩和されたと地域住民からの喜びの声が聞こえるなど一定の効果が表れています。

しかしながら、北区役所周辺の渋滞は依然として激しいままであり、更に、「熊本西環状道路」や、令和 7 年度に新規事業化された「中九州横断道路（熊本環状連絡道路）」が整備されることにより、今後、本市北部地域の交通需要増加も見込まれる中、本バイパス及び熊本西環状道路等が互いに連携し、道路ネットワークが有機的に機能される必要があることから、事業中区間 5.6km の早期整備とともに、未事業区間 3.7km（北区植木町鞍掛～植木インター付近）の早期事業化を望むものであります。

つきましては、次の事項について特段の御配慮をお願いいたします。

- ○ 国道３号植木バイパス事業区間（5.6km）の早期整備を図ること。特に、3-1 工区（2.4km）の早期供用開始に向け取り組むこと
- ○ 国道３号植木バイパス未事業化区間（3.7km）の早期事業化を図ること
- ○ 国道３号植木バイパスの整備のため、必要な予算を確保すること

○ 大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと

○ 令和７年６月に閣議決定された第１次国土強靱化実施中期計画のとおり、推進が特に必要となる施策の事業規模は、今後５年間でおおむね 20 兆円強に加え、今後の資材価格・人件費高騰等の影響については予算編成過程で適切に反映し、必要な予算を通常道路とは別枠で満額確保すること

○ 我が国の生産性を向上させ、成長力及び国際競争力を強化するほか、経済安全保障に寄与するためにも、高規格道路のミッシングリンクの解消やダブルネットワーク化など幹線道路ネットワークの構築を図ること

○ 激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと

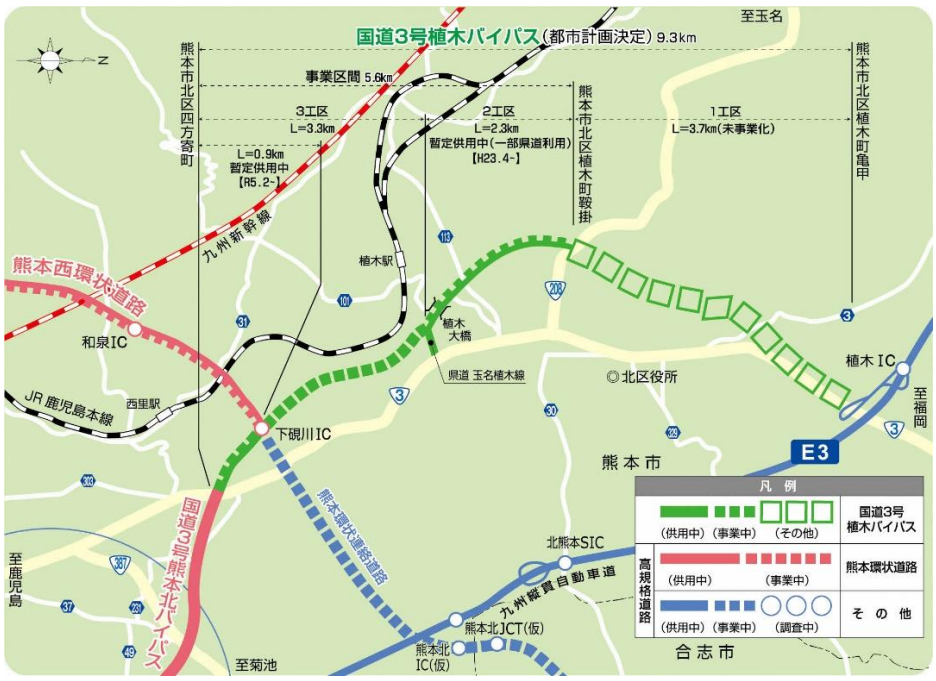
○ 資材価格などの上昇に対応する中でも、地方創生を実現し、山積する道路整備の課題に対応しながら計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設等により、令和８年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること

令和７年８月

国道３号植木バイパス建設促進期成会

会長　熊本市長　大 西　一 史

国道３号植木バイパス



国道３号植木バイパス建設促進期成会

会長	熊本市長	大西　一史
副会長	山鹿市長	早田　順一
副会長	玉名市長	藏原　隆浩
理事	玉東町長	前田　移津行
理事	南関町長	佐藤　安彦
理事	和水町長	石原　佳幸
理事	熊本市議会議長	大石　浩文
監事	山鹿市議会議長	有働　辰喜
監事	玉名市議会議長	江田　計司